経済学部で学ぶことの意味

東京大学大学院経済学研究科教授　柳川範之

経済学部の魅力

- 多様な分野が勉強できる

  ミクロ経済学

  マクロ経済学

  統計学・計量経済学

  経営学

  会計学

  経済史など

新しい分野も学べる
～他分野との連携も多い

ゲーム理論

行動経済学・経済心理学

法と経済学

政治経済学

ビジネスエコノミクス

データサイエンス

経済学・経営学を学ぶと何ができるのか

- 狭い意味での経済の理解だけにとどまらない
- 社会全体を把握・分析する
- データ分析の進展　AI活用の可能性
- 社会実験
- 具体的な援助対策・環境問題への対処
- 政策提言、政策分析

経済学・経営学を学ぶと何ができるのか

- 理論分析による構造的理解
- データによる実証的理解
- 理論モデルは絵にかいた餅か？
- 学問領域に優劣はあるか？

社会科学を学ぶことの意義と限界

- 社会構造を完璧に記述し、分析し、予測することはできない
- データが足りない
- 構造が、刻々と変化する
- 社会は、複雑で多面的（個人の心理だけでも100%の把握は難しい）

社会科学を学ぶことの意義と限界

- 分析対象・分析目的によって分析手法を使い分けるしかない
- 社会科学において、多様な学問領域が存在する理由の一つでもある

- ミクロ理論モデルとマクロ理論モデルの違い
- 経済学と経営学はどう違うのか

少し細かい解説

- ファイナンス理論と会計学の違いは？
- 経済理論モデルは非現実的という批判があるが

  ニュートン力学との対比

- ミクロデータ分析とマクロデータ分析の違い
- データはすべてを語るのか・・・
- とはいえ、今後のデータ分析の可能性